



平成31年1月16日発行

HPアドレス: <http://keinet.com/dairyuus/>

“うま味”をつくる

～「傷のあるリンゴ」が教えてくれること～

大龍小学校 校長 福田 裕生

平成時代の最後となる新年が明けました。十二支最後の“亥年”を、これまでの成果をまとめながら新たな時代への準備に突き進む、幸せいっぱいのにしていききたいものです。



さて、外山滋比古さんのエッセー『傷のあるリンゴ』にこんな一節があります。

青森へ行った帰りに、朝市に寄ってリンゴを買った。キズのあるリンゴを売っているおばあさんがいる。こちらが、「キズのあるリンゴの方が甘いんですね。」と言うと、おばあさんが、
「東京の人のように、よくご存じですね。みんなには、嫌われています。」という意味のことを土地の言葉で言った。うれしくなって持ち切れないほど買ってしまった。
キズのついたリンゴ。
なんとかそれをかばおうとして、力を出すのであろう。
無キズのリンゴより美味しくなるのである。
キズのないリンゴだってなまけているわけではないが、キズのあるリンゴのひたむきな努力には及ばないのか。

成長途中のリンゴの表面に傷ができると、傷口から水分が蒸発して干からびやすくなり、一時的に成長が妨げられてしまいます。それをかばってリンゴ自体がエチレンというガス物質（＝炭化水素）を発生させ、早く熟して種子を残そうと頑張り糖分を余計に出すので、そのリンゴは甘く育つというのです。自分の傷を補おうと、リンゴ自体がひたむきに努力した結果として、他にない“うま味”がつけられるのだそうです。

そう言えば、先日、ある子どもが「おばあちゃんの家になっていたんだよ。」と届けてくれたサワーポメロの表皮にも、無数の傷がありました。その果肉の何とも瑞々しいこと。“うま味”ぎっしりの甘さは、それはそれは最高の味でした。

さて、人はどうでしょう。失敗や挫折を気にしてばかりいると、ついつい気が滅入ったり先行きが不安になったりすることがあります。しかし、いろいろな経験を重ねていくうちに内なる力が付き、その力はいつか人間の表に現れるのです。失敗や挫折は誰し

もあることです。むしろ、失敗や挫折がないということは、あだになることが多いかもしれません。人間も過去の失敗や挫折を補い取り戻す努力をすることで、人間的な“うま味”をつくり出しているような気がします。

幼い頃、何度も転び、膝を擦りむき血を滲ませ、目を潤ませながら初めて自転車に乗れるようになった時のことは、今でも懐かしい思い出の一つです。幼いときや若いときに「転ぶことがないと、人間としての真の成長にたどり着けない」という教えもあるほどです。いくつもの挫折を味わい辛い過去を負いながらも、めげず、へこたれず、努力を続け、苦難を乗り越えて“一人前”になった人は、周囲の人々に勇気を与える存在になっていくことだってあります。傷のあるリンゴや失敗・挫折を味わった人生ほど“うま味”が増すのかもしれない。

平成の終わりも間近です。成長を続けている子どもたちもこの間、様々な成功や失敗・挫折の体験があったことでしょう。子どもにそっと耳を寄せてみると、きっと“うま味”を醸す音が聞こえてくるはず。本校のすべての子どもが、将来の“一人前”に成長中であることは確かな事実です。
いよいよ30年度のしめくくりの学期です。一人一人の“うま味”を更に深い味にまで仕上げ、進学・進級に備えたいと思っています。

鬼火たき ～健康と安全を祈る～

1月10日(木)は、特活朝会の時間に、校庭で鬼火たきを行いました。鬼火たきは鹿児島の伝統行事です。正月に飾った門松やしめ飾り、書き初め等を燃やし、自分や家族、友達の健康と安全を祈ることをねらいとして、大龍小学校では毎年学校で行っており恒例行事となっています。

天気を心配しましたが、当日は風もなく絶好の日和となりました。子どもたちは、大龍子どもの誓いを元気よく唱和したあと、総務委員会による「鬼火たき」の話を聞き、点火を見守りました。その後、燃え上がる炎を真剣な表情で見つめ、お互いの今年一年の健康と安全を祈りました。今年の鬼火たきのやぐらは、崩壊するのが早く、子どもたちから「あー」という声が上がりました。それでも時折竹がはじける「ぼん！ぼん！」という音に歓声を上げながら、無病息災を祈りました。

今年もテレビ局の取材を受けました。MBCは1月27日(日)の15時30分から「市民の広場」で大龍小の鬼火たきについて放送するとのことでした。



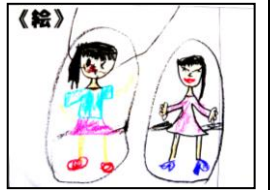
発明大賞(第2期)12月11日～12月14日

学校だより「えのき」第11号で第1期(11月19日～11月30日)の発明大賞8人の発明を発表しましたが、今回、第2期の6人の発明を発表します。

○ 「むしばをなおすでんしゃ」

1年 大山 志歩

「でんしゃにのるとむしばをなおしてくれる。ちりょうもできるようになっている。」



○ 「しあわせロボット」

1年 中村 芯美

「いつもおこっている人にロボットがさわると、にこにこになります。このロボットは100こぐらいからだにくりがあるからそれを一日90こぐらいつかうロボットです。」



○ 「ゆめ水鳥」

4年 早川 太一朗

「自然が大好きで、水を無限に出してくれる。くちばしでかみついたゆめははなさない。これで水のない国も夢や希望をもってくれるだろうと思う。」



○ 「左右移動エレベーター」

4年 前田 諒士

「ドラえもん『どこでもドア』みたいにどこでも移動できる。
【使い方】①お金をはらい行きたい場所を言う。②いすにすわってベルトをつける。③酔い止め薬が出てくるので飲む。④着いたら出る。」



○ 「食べ物出てくる棒」

4年 永井 翔瑛

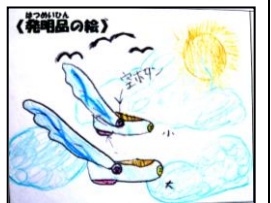
「食べ物を買わないで無料で食べられる。食べたい物を棒に言ったら、その棒から食べ物が出てくる。」



○ 「空飛ぶシューズ」

5年 舞田 愛理

「このくつをはいて『空ボタン』をおすと、空を自由に飛べます。『空ボタン』のネジを回すと、くつの大きさが変わります。くつの大きさはなるべく同じにしないと、バランスが取れません。」



第1期の発明大賞と今回の分を合わせて14の発明大賞となりました。どの発明も子どもたちの豊かな発想が詰まった発明です。1月17日(木)に、南日本新聞の記者の方が発明大賞に輝いた子どもたちの取材に来られる予定になっています。大龍小の子どもたちのよさが、また新聞で紹介してもらえることになりそうです。

2学期の学校評価（保護者アンケート）結果をお知らせします

「学校教育」及び「家庭教育」に関するアンケート 集約 12月

長子回答数(率) **248(90%)**

1学期との比較 ポイントUp→**太字** ポイントDown→下線

番号	観点項目	1学期	2学期
1	学校は、地域のよさ(人材、自然、歴史・文化等)を生かしながら、新たな取組にもチャレンジし、さらに魅力ある大龍小学校づくりに努めていると思いますか。	3.4	3.6
2	学校は、いじめ防止や仲間づくりのことを大事にし、よりよい雰囲気づくりに努め、子どもたちが毎日楽しく学校生活を送っていると思いますか。	3.5	3.5
3	学校は、子どもに基本的な学習態度(姿勢、発表等)や学力・体力、規範意識や生活態度が身に付くような指導を重ね、子どもに力を付けていると思いますか。	3.5	3.5
4	学校は、職員が一丸となって一人一人の子どもを大切に、優しさと厳しさを併せもった熱意ある指導や誠意の伝わる対応をしていると思いますか。	3.4	3.5
5	学校は、保護者の思いや相談事(不安や悩み)等を受け止めて、保護者や地域、関係機関とも十分に連携を図りながら教育を進めていると思いますか。	3.5	3.5
6	学校は、方針(考え)や取組等を積極的に情報発信したり、分かり易く説明したりしていると思いますか。(学校便り、保健便り、図書便り、週報、ホームページ等)	3.5	3.6
7	学校は、教育環境(教室内や校舎内の掲示物・設営、校内緑化、安全面の配慮、施設・設備等)を整えるために、工夫や努力をしていると思いますか。	3.5	3.5
8	学校職員は、子どもや保護者、地域の方々に対して、場に応じた挨拶、言葉遣い(電話の対応)、誠意のある接し方や協力をしていると思いますか。	3.6	3.6
9	子どもと挨拶や会話を交わし、家事(手伝い)をさせ、人を傷つける言動(差別やいじめ)や迷惑行為、命や安全等について、繰り返し言い聞かせていますか。	3.5	3.5
10	家庭学習(1年20分,2年30分,3年40分,4年50分,5年60分,6年70分以上)が習慣化するように、子どもに声をかけたり、取組状況の見届けや称賛をしたりしていますか。	3.2	3.2
11	規則正しい生活習慣(早寝・早起き、ハチツボネブ、朝ご飯、テレビ視聴やゲーム時間、忘れ物0等)が身に付き、身なりが整うように声をかけ、見届けをしていますか。	3.2	3.2
12	病気の治療(目・耳・鼻の病気やむし歯)を早めに行なわせたり、病気の予防(手洗い・うがい・排便等)や体力づくり(外遊びや運動)等に取り組みさせたりしていますか。	3.3	3.3
13	配布物は必ず読み、提出物は期限を守るようにしていますか。	3.4	<u>3.3</u>
子どもの状況	お子さんは、喜んで登校し、満足して下校していますか。	3.6	3.6
	お子さんは、あいさつや返事がきちんとできていますか。	3.3	3.3
	お子さんは友達や周りの人のことを考えた思いやりのある行動や言葉づかいができていますか。	3.3	3.3
	お子さんは、学習や生活にふさわしい服装で登校していますか。(帽子、白い靴下、髪ゴムの色など)	3.8	<u>3.7</u>
	お子さんは物を大切にしたり、環境により行動をしたりしていますか。	3.1	3.2
	お子さんは、家庭で読書にはげんでいますか。	3.1	<u>2.9</u>
	お子さんは、学習内容を理解していますか。	3.2	3.3
	お子さんは、家庭学習にしっかり取り組んでいますか。(1年:20分,2年:30分,3年:40分,4年:50分,5年:60分,6年:70分)	3.2	3.2
	お子さんは、危険予知能力、危険回避能力が高まっていますか。	3.1	3.2
	お子さんは、ハチツボネブ、手洗い・うがい、食後の歯磨きの習慣が身に付いていますか。	3.2	<u>3.1</u>

評定の平均は数値が高く、保護者の方々から非常に高い評価をいただきました。自由記述の意見については学校経営の参考としていきたいと思えます。3学期も保護者の方々のご期待に応えられるように職員一丸となって取り組んでまいります。御協力をよろしくお願いいたします。

<自由記述>

- 校内に入ると、子どもたちが元気にあいさつをしてくれてとても気持ちがいいです。
- 1年生ということで、学習の習慣化に努めています。宿題への先生方のコメント、御指導が励みになり、子どもも親も意欲的に取り組んでいます。いつもありがとうございます。
- 家庭教育では、出来るだけ目が届く所で一緒に過ごすよう心掛けています。他の小学校のことを知らないのでもとも言えませんが、子どもが楽しく通っていることがいちばん嬉しいです。
- 先生方が、愛情をもって一人ひとりに丁寧に関わってくださっていることがとてもよく伝わります。ありがとうございます。家庭では、子どもの気持ちを大切に、人の役に立てることを心掛けて行動できるよう話しています。
- いつもありがとうございます。学級通信で、教科の取組などを具体的にお知らせしていただけるので、宿題を教えたりするときの参考になっています。お忙しい中本当にありがとうございます。他の学校生活も詳しく書いてくださるので、できていること、頑張るところ、子どもと話すきっかけにしています。
- 校長先生をはじめ、先生方が子どもたちの様子をよく見て心もくみとってくださっている感じがします。大龍はのびのびしていますよね。
- 校長先生が率先して学校を良くしようと努力しているところがすばらしいと思います。
- 大龍小は上級生が下級生に優しいと思う。
- 家庭学習の大切さを子どもと親、両方にプリントで教えてくださるので取り組みやすい。プリントだけ配られてそれを見た親が子どもに伝えるのと、先生が子どもに伝え、そのプリントを持って帰って親と話しをするのでは差があると思う。「取り組んでいますか」と何度もくり返し聞かれると、はっと思い出すのでいいと思う。
- 児童数が少ないわけでもないのに、一人一人の子ども名前や個性を覚え、大事にしてくださっていると感じています。また、事件・事故や気象や災害などに関する連絡が速やかで、情報や安全対策に配慮が行き届いていて、安心して通わせることができ感謝しています。
- いじめ問題など学習に取り組まれているところがありがたいです。
- 敬天愛人、奮励努力の校訓のもと、とても温かい雰囲気の中で教育活動が行われていると感じています。校長先生が、毎日のように朝、子どもたちにあいさつ等、触れ合いをしてくださることがとても心強いです。
- 校長先生をはじめ、先生方、職員の皆さん、とても熱心でありがたいです。家族の見届けがいつも足りず、反省ばかりの親ですが、先生方を見習って西郷どんのように、心身ともに強くたくましく子どもを教育できたらと思います。
- プチ自慢大会など他の学校にはない取り組みで、子どもの自信を高めていたりするのはすごく良いと思います。自由参観も日頃見られない姿が見られて、いろいろと家でも話ができて良いと思います。
- 昔ながらの行事や言葉などに触れる機会があって良い。
- 緑がいっぱいきれい。
- 子ども一人一人に目が届く規模だからでしょうか。一人一人が保護者や先生方から見守られ、大切にされ、たくましく育てていただいているように感じています。祖母、父、娘、孫と4代お世話になっています。
- 校内のあちこちを開放していたり、先生方のおすすめの本の紹介があったり、生き生きしていて良いと思います。
- 子どもたちが学年を問わず、仲良しなところがとても素晴らしいです。
- お互いが周りの友達のことを気にかけて過ごしていることがよく分かります。
- 走ることが苦手な子が前向きに取り組めるように、持久走大会のジャストタイム賞がとてもいいことだと思いました。
- 先生方が子どもたちの悩みに対して、受け止めてくださる方が多いと感じています。

- これからの学校教育が自らの考えを持って表現できるようになることなど、大学入試に関しても記述式が増えるなど、方針が分かり、とても参考になることの提示があり、ありがたいです。家庭では、日常が慌ただしく、十分に家庭教育が行えている自信はないが、愛情を持って関わっています。
- 大龍小の先生方は一人一人の個性を大切にしてくださり、明るく前向きに御指導してくださるのでとてもありがたく感じています。また、6年生には、先を見て中学生になってから苦労しないよう、様々なことを伝えてくださり本当に感謝しています。「手を離しても目を離さない」という担任の先生のお話が印象的でした。
- 先生方の雰囲気や地域の方々とコミュニケーションをとりながら、よりよい環境になるように協力してくださることを願っています。
- どんな些細なことにも真剣に向き合って話を聞いてくださり、いつも感謝しています。
- ボランティアや委員会活動が活発化し、校内にもいろいろなところに掲示物が増えていてとても良い雰囲気になっていると思う。先生方の様子もとても楽しんでそうで気持ちがいい。学校に頻繁に来れない保護者にも学校内の取組(児童の取組を含む)を知ってもらえる手段があるといいなと思う。
- 学校行事などで子どもたちが目標を持って生き生きと活動している姿にいつも感動します。
- バイク給食は子どもにとってうれしいものだったようです。ケーキも出て大満足だったようです。いつもおいしい給食を作ってください給食室の先生方に感謝です。
- いつもありがとうございます。先生方に見守られ、声かけしていただくことで、子どもたちも安心して学校生活が送れているのだと思っています。細やかな気配りに感謝です。中学生になるにあたり、少し厳しさも加えていただけたら嬉しいです。(中学生は、がらりと変わると思うので・・・)もちろん楽しさも大事ですが・・・。
- 花や緑がきれいです。タイヤの山の近くの下に石が埋まっていた危ないと感じました。→土を入れるなどして対応します。
- 授業参観のときに、隣のクラスが音楽で、鍵盤ハーモニカを使っていて授業の音がまったく聞こえなかった。しかも、前日も音楽で、楽器や歌声がずっと流れていて聞き取れなかった。隣のクラスに配慮する姿勢はないのかと疑問をもった。職員で話し合いをしていただきたい。→学年で音楽の時間を連絡し合っています。授業参観の際は、ぜひ教室の中に入って御参観ください。
- 日頃の熱心な心のもった教育を授けていただき感謝しております。歴史教育に力を入れていらっしゃることで、地域への誇りを持つという点でもよいと思いますが、行き過ぎて懐古主義とならないようくれぐれもよろしく願い申し上げます。またバランスが取れるように、地域の植生、地質、岩石、鉱物等やそれらを生かした産業等を紹介する資料室もあるとよいなと思います。(子どもたちの作成した標本等を展示するなど、背伸びしない程度のものでよいと思います。)歴史資料室も子どもが(中学年の子もたちが)興味を持つような展示にされるのとよいかと思います。→大龍歴史資料館の今後の整備の参考とします。
- 病気を防ぐために、お茶うがいなどを取り入れている学校もあるようなので、そういう取り組みも検討してもらえたらありがたいです。水の出る機械もあれば良いなと思います。→水筒持参での熱中症対策やお茶うがい、冷水機の購入、メンテナンスにかかる費用等を総合的に考えて検討します。
- 1学期にも書きましたが、教育相談と家庭訪問は、どちらかでもよいような気がします。→教育相談と家庭訪問のそれぞれに目的があります。来年度の実施方法についてはPTA理事会で話題にし、後日お知らせします。
- 持久走大会は、午前中に全学年実施することはできないでしょうか。→改善に向けては下記にまとめます。
- 持久走大会は、学年ごとに日が違うので、例えば1日の1・2時間目、3・4時間目、5・6時間目となると週に何度も休まずありがたいです。土曜日や日曜参観と一緒にと来られる保護者が多いと思います。→持久走大会は午前に全学年実施可能ですが、保護者の方々は午後から再度PTA懇談会に来ていただくこととなります。PTA理事会で話題にします。

シリーズ 子どもたちに伝えたい西郷どんの教え 第3章『正しいということ』→「全ての悪事は、自分を大事にしすぎることから始まる」(『西郷どんの教え』2007年西郷隆盛公奉賞会出版)